

冬にサクラマスが獲れました！

本年の1月12日、新中川と旧江戸川合流部付近でサクラマス(全長25.0cm、体重171g)が獲れました。小島一則(東京東部漁業協同組合)さんが仕掛けたハゼ刺網に懸かったものです。

サクラマスは奥多摩等の溪流に生息するヤマメが海に下り、桜の時期に大型魚となって川に戻ってきたものでその名が付いています。

本協会では、平成7年から16年の10年間、東京都水産試験場奥多摩分場の協力を得て、11～12月に稚魚(体重約30g スモルト化率7%前後)を多摩川調布取水堰下等に累計4万尾ほど放流すると共に、捕獲調査を行い、現在も続けております。

1月の捕獲記録は平成11年に8尾(41～124g)、16年は1尾(125g)で、放流を行わなくなってからははじめてです。魚体にはヤマメ同様パーマークが残っていました。



サクラマス(*Oncorhynchus masou masou*) 全長 25.0cm 体重 171g